

平成 19 年度財団法人埼玉県体育協会
第 4 回理事会議事録

日 時：平成 20 年 3 月 14 日（金） 午後 2 時 00 分より

会 場：財団法人埼玉県自治会館 4 階ホール

出席者：28 名 委任者：4 名 陪 席：1 名 事務局：5 名

定足数の確認

○理事 34 名のうち出席 28 名・委任 4 名・合計 32 名、寄付行為第 26 条第 2 項により理事会成立を報告。

報告事項

第 63 回国民体育大会冬季大会成績について

○第 63 回国民体育大会冬季大会スケート競技会が、平成 20 年 1 月 26 日（土）から 30 日（水）の間に長野県長野市、アイスホッケー競技会が平成 20 年 1 月 28 日（月）から 2 月 1 日（金）の間に長野県軽井沢町、スキー競技会が平成 20 年 2 月 19 日（火）から 2 月 22 日（金）の間に長野県野沢温泉村で開催された。今大会は、同一県開催だったので 3 競技の総合開会式を行った。また、新たな取り組みとして開催県に企業協賛の導入が認められた。成績については、スケート競技は昨年の点数を上回り 55 点。アイスホッケー競技は、2 年連続の競技別天皇杯を獲得。成年男子優勝、少年男子準優勝という素晴らしい成績を修めた。冬季大会終了時の総合成績は天皇杯 154 点で第 7 位、皇后杯 43 点で第 13 位。昨年より成績がよく、目標に掲げている 3 位以内に期待が持てる成績である。

専門委員会の活動経過について

総務委員会

○第 2 回総務委員会を本日午前中に開催。本理事会の議案について検討した。

強化対策委員会

○平成 20 年 1 月 15 日（火）に競技団体長支援企業連絡協議会を開催した。会議終了後に会費制の懇親会を開催し、岡島敦子副知事、逢澤義朗県議会副議長・島村和男教育長の出席をいただいた。平成 20 年 1 月 18 日（金）に第 3 回選手強化対策委員会を開催し、第 63 回国民体育大会の強化基本計画や方針を図った。主な内容として、関東ブロック大会全種別・種目の突破率を 75%にする。天皇杯・皇后杯ともに 3 位以上を目指す。冬季大会が素晴らしい成績を修めているので大いに期待出来る。

スポーツ科学委員会

○メディカチェック・体力測定・スポーツ心理・スポーツ栄養からなるトータルサポート事業を、1 月 14 日（月：祝）にアーチェリー競技を実施した。2 月 2 日（土）・3 日（金）には、埼玉県スポーツ指導者研修会において、トップアスリートへの道と題したシンポジウムと総合型地域スポーツクラブを立ち上げようとして題したパネルディスカッションを実施した。国民体育大会冬季大会の帯同ドクターには、各競技会各 1

名計 3 名を派遣した。平成 20 年度に開催される「彩夏到来 08 埼玉総体」のプログラムに史上初となるアンチ・ドーピングの教育啓発ページを掲載することとなり、本委員会に寄稿の協力依頼があったので、アンチ・ドーピング小委員会において検討している。平成 20 年度は、スポーツ科学委員会創設 20 周年を迎えるので、何か記念事業を実施したいと考えている。準備委員会を立ち上げ進めているので、各理事の皆様方にもご指導・ご協力をお願いしたい。

スポーツ少年団

○1月 26 日（土）・27 日（日）、栃木県鬼怒川市において埼玉県スポーツ指導者指導者現地研修会を開催した。県内指導者 270 名が参加し、一日目は種目別大会の打合せ等を行い、二日目は、平成国際大学の戸荻晴彦教授による少年スポーツの指導の講演を拝聴した。12 種目別大会では、1 月にバレーボール大会、2 月に駅伝大会を開催し、平成 19 年度の全ての種目別大会が終了した。昨年 12 月下旬に、走行中の車から子供が転落する痛ましい事故があった。このクラブは埼玉県スポーツ少年団に登録している団である。埼玉県スポーツ少年団としても、2 度とこのような悲しい事故が起こらないよう、県教育委員会からの再発防止の通知を添えて、各市町村本部宛に安全管理の徹底を促した。県の本部員会や研修会等で、安全管理については最重要課題として取り組む旨話し合われている。また、来年度は役員改選もあるので、改めて通知（啓発）していきたい。

加盟審査委員会

○埼玉県グラウンド・ゴルフ協会と埼玉県パワーリフティング協会の 2 団体から加盟申請書が提出されていたので、平成 19 年 12 月 18 日（火）に開催した。慎重に審査したが、現段階では加盟内容を満たしていないので見送ることとした。

埼玉県立武道館の指定管理者について

○前回の理事会でも報告したが、株式会社サイオーと連携して平成 20 年 4 月 1 日から埼玉県立武道館の指定管理を請け負う。これに伴い、本会から 5 名の職員を推薦することになっていたのも、特に、責任のある立場の館長には櫻井勝利副会長を推薦した。

加盟団体監査について

○平成 16 年度の県の包括外部監査において、運営は基より多額の金額を執行している強化費について、本会の責任において各加盟団体の監査を実施すべきとのご指導があった。今年度は、2 月 15 日（金）に本会会議室において埼玉県バレーボール協会の監査を実施した。概ね健全運営を確認した。今後につきましても、加盟団体とより一層信頼関係を構築しながら会計監査を実施して行きたい。各理事に関係ある団体を実施するときにご協力願いたい。

埼玉県監査委員会監査について

○埼玉県監査委員会委員監査の前段の職員予備監査が、平成 20 年 2 月 25 日（月）に実施された。埼玉県監査委員会職員 3 名により、午前 9 時 30 分から 17 時 30 にかけて

て、平成 18 年度分の一般会計、事業費の競技力向上事業・スポーツ少年団事業等の監査が実施された。

協議事項

平成 20 年度事業計画について

○平成 20 年度の事業計画（案）並びに予算（案）については事前に資料をお送りしてあるので、主立った所の説明をさせていただきます。平成 20 年度は、報告にもあったとおり埼玉県立武道館の指定管理の実施や、全国高等学校体育大会「彩夏到来 08 埼玉総体」が本県で開催されます。基本方針は昨年同様、長年培った選手育成のノウハウを活かし、さらなる競技力向上を図り世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成する。県民が健康で活力ある生活を築くため、さらなる県民スポーツの振興を図り、生涯スポーツ社会の実現を目指す。スポーツ振興事業では、第 1 に総合型地域スポーツクラブの育成推進を上げた。昨年と変わった内容として、総合型地域スポーツクラブ啓発フォーラム等の開催。総合型地域スポーツクラブが設置されていない市町村において開催し、身近なところで総合型地域スポーツクラブを知ってもらう。総合型地域スポーツクラブ育成支援チームの設置では、既に立ち上がっている総合型地域スポーツクラブや、これから立ち上がろうとしている総合型地域スポーツクラブ、または、これから総合型地域スポーツクラブの立ち上げを検討している地域などに、トップアスリートを派遣し、地域の人たちを多く呼び込みながら総合型地域スポーツクラブの内容を理解してもらうことや、クラブを立ち上げる時に不可欠な経理指導のための会計士の派遣などを行う。生涯スポーツ地域振興助成事業は例年通り。公認スポーツ指導者養成講習会は、陸上競技、バレーボール、バスケットボール、ソフトボール、ゲートボールの以上 5 競技。埼玉駅伝競走大会は、第 76 回を数える伝統ある大会。なお、中学生大会は 11 月に熊谷スポーツ文化公園で開催される。スポーツ活動の支援事業の充実は例年度通り。国民体育大会実施競技団体スポーツ安全管理推進活動は平成 19 年度から実施し、国民体育大会傷害補償制度の前年度実績人数に 500 円を乗じて交付。加盟団体運営補助事業も例年通りで、競技団体が 150,000 円、市町村体育協会には 40,000 円及び人口 1.5 円の補助を行う。競技力向上事業では、第 1 期別強化訓練事業、第 2 期別強化訓練事業、スポーツ環境整備事業、支援スタッフサポート事業、競技団体指定クラブ強化事業、ジュニア育成補助事業、中高体連育成強化事業の 7 つの強化事業を実施。県費補助金の減額に伴い、事業を精査し実施内容も昨年と変更している。国際競技派遣事業では、国際大会に出場する際の経費について、定額補助により個人負担の軽減を図る。平成 20 年度は北京オリンピックの開催年であり、オリンピック競技大会は 20,000 円、それ以外の国際大会は 10,000 円の補助をする。スポーツ少年団事業では、平成 20 年度は大きな事業を 2 つ実施する。一つ目は、第 38 回関東ブロックスポーツ少年大会で、関東 8 都県の輪番制により開催され、平成 20 年度は本県開催となるため、例年 8 月に開催している、野外活動を中心とした埼玉県スポーツ少年団大会と並行開催により実施。二つ目は、第 6 回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会を 3 月に実施する。第 35 回日独スポーツ少年団同時交流事業は、派遣と受入を実施し、受入は、平成 20 年 7 月 25 日（水）から 8 月 4 日

(土)の10泊11日を桶川市受け入れる。その他、指導者養成や研修、リーダー養成を実施する。スポーツ科学研究事業では、先ほどの報告にもあった通り、6月に創設20周年記念事業を実施。アンチ・ドーピング教育啓発事業、国体選手の健康管理事業、国民体育大会帯同ドクター派遣、トレーナーやコーチングセミナーの開催。免税募金活動は例年通り。スポーツ振興くじ助成事業は平成20年度募集なし。広報・普及活動事業では、「スポーツ埼玉」誌の発刊、ホームページの充実、キャッチフレーズの活用、スポーツ少年団「スポーツともだち仲間たちの」発刊。顕彰事業では、埼玉県体育賞、財団法人埼玉県体育協会体育優良児童生徒表彰、第63回国民体育大会表彰式、埼玉県スポーツ少年団表彰を行う。諸会議では、理事会を4回、評議員会を2回、郡市町村連絡会議を県内東西南北各1会場の計4回、その他各種専門員会を実施する。先ほどスポーツ少年団事業で説明した第6回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会は、開会式を平成21年3月26日(木)に、彩の国くまがやドームで行う。競技会は、男子が平成21年3月27日(金)から28日(土)で、会場を深谷市のビッグタートルで行い、女子は、平成21年3月27日(金)から29日(日)で、彩の国くまがやドーム体育館及び行田市総合体育館グリーンアリーナで行われる。2008年日中成人スポーツ交流事業では、派遣が、平成20年6月5日(木)から10日(火)で、中華人民共和国の安徽省(アンキショウ)。受入は、平成20年12月4日(木)から9日(火)の間、県内各地で行われ、テニス、卓球、バドミントン、ボウリングの4競技のスポーツ交流が行われる。埼玉県立武道館の指定管理では、財団法人埼玉県体育協会は株式会社サイオーと連携し、平成20年度から平成24年度までの5年間、埼玉県立武道館の指定管理を行なう。平成20年度の年間行事予定表には、理事会や評議員会。日中成人交流事業、彩夏到来08埼玉総体、チャレンジ!おおいた国体の日程など記載してあるので参照願います。

平成20年度予算案について

○一般会計県補助金は、77,060,000円で昨年同額。日体協補助金等収入は6,980,000円減額の5,540,000円。平成19年度に本県で開催した関東ブロック大会開催経費分の減額。負担金収入が増額となっているが、これは、平成19年度の予算編成時には新規加盟団体が見込まれていなかったため、実際は11,200,000円で同額。平成20年度の一般会計の収入合計は、106,418,000円。支出については、管理費支出において給与手当支出の自然増以外は例年通り。スポーツ活動支援事業において、事業計画で説明した国民体育大会実施競技団体スポーツ安全管理推進費を支出する。次期繰越収支差額を24,000,000円とし、翌年の4月から6月の義務的経費。スポーツ振興事業特別会計では、県費補助金が14%減額で、競技力向上事業及び生涯スポーツ事業関係で126,663,000円、スポーツ少年団事業は15,000,000円で同額。スポーツ振興事業特別会計収入合計は206,139,000円。支出については、第1期強化訓練事業が9,440,000円の増額となっているが、県費減額に伴い、アスリート育成強化事業19,250,000円を廃止し統廃合による増額。その他、中高体連盟育成強化費支出のうち「彩夏到来08埼玉総体」支援事業から4,398,000円の減額、指導者養成費支出から指導者養成資質向上事業の廃止等により5,980,800円の減額。スポーツ少年団支出

では、少年団大会費支出に、関東ブロックスポーツ少年大会の経費を計上し、全国スポ少バレー開催費支出に第 6 回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会経費を計上した。生涯スポーツ振興費支出では、893,000 円の減額となっているが、その多くは各種大会派遣費支出における派遣人数を精査し派遣費を削減。事業部特別会計は、大宮公園の飛行塔の売り上げ総額の 15%を見込み 1,801,000 円で平成 19 年度と同額。学校体育団体等補助事業は 21,180,000 円で昨年同額。免税募金事業特別会計は平成 19 年度と同じ。スポーツ振興くじ助成事業特別会計は平成 20 年度の募集がなかった。

○なにかご質問等ございますか。無いようなのでお諮り致します。平成 20 年度事業計画及び平成 20 年度予算案について原案の通りご承認頂けますか。

以上全議事を終了し 14 時 55 分閉会